

あの施設計画は今?!

— 特集 第2弾 —

平成3年
公適配発表

平成6年
見直し素案

平成8年
新基本計画
改訂案

平成9年
修正基本
計画

そして
今

★は建設費

ランニングコスト一覧 (光熱費、清掃費、保守管理費等〈年間〉)

従来型施設 (例)

番町小学校	約3000万円
一橋中学校	約3400万円
千代田区役所	約2億7000万円
区内神田住宅	約1000万円
千代田公会堂	約1億円

新しい施設

神保町ひまわり館	約4,400万円
いきいきプラザ	約12億円
西神田二丁目複合施設	約7,000万円 (推定)
神田公園出張所 (11か月)	約1,700万円
神田さくら館	約4億円
昌平童夢館	約3億4,000万円
岩本町二丁目複合施設	約5億円 (推定)
パークサイドプラザ	約2億3,000万円
九段さくら館	約1600万円
内幸町文化ホール	約7900万円

比較

★204億7千万円 → 129億3200万円

西神田小 → (区民住宅、区営住宅 保育園、児童館 ストックヤード 子ども家庭支援センター) H11年11月開設予定

西神田 児童館 保育園 → 調査・検討 → シルバー人材センター

小川小 → (総合文化施設 歴史民族資料館、図書館 生涯学習センター、芸術文化ホール) → 延期 (広場)

★27億65百万円

神保町出張所 → 改築 神保町ひまわり館
九段中 → 現状維持

★3億72000万円

淡路小 → (保育園) 神田 児童館 保育園 → (公共浴場、高齢者住宅) 区民住宅

富士見福祉会館 → 障害者総合福祉センター → 調査・検討

第二特養 ★推定20億800万円 土地代12億円

★推定5億3700万円
富士見出張所 → 改築 (H12年度末竣工)

練成中 → 現状維持

富士見小 → 調査・検討

★83億1200万円
芳林小 → 昌平童夢館 (幼稚園、児童館 小学校、まちかど図書館)

九段小 → 調査・検討

★29億6200万円
ちよだパークサイドパーク

用地代377億4000万円
★109億9000万円

一番町 いきいきプラザ (特養老人ホーム 高齢者在宅サービスセンター 高齢者住宅 福祉ボランティアセンター 多目的ホール 温水プール)

★推定6億2500万円
和泉橋出張所 → 改築 (H13年度末竣工)

麹町保育園 おひさま広場

★36億7600万円
今川小 (区民住宅 福祉作業所 福祉住宅 高齢者在宅サービスセンター) → (公社一般賃貸住宅 高齢者在宅サービスセンター 在宅介護支援センター ホームヘルパーステーション 痴呆性高齢者グループホーム)

★推定50億26百万円
麹町小学校・幼稚園 番町出張所 → 改築

ふれあい会館 (集会所)

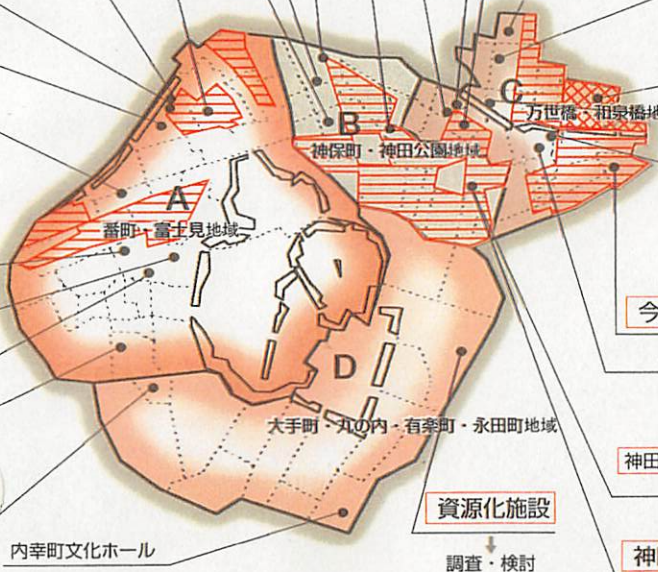
麹町中 → 現状維持

★77億1400万円
神田小 (幼稚園、小学校、中学校 国際交流センター、地域区民館 教育研究所、まちかど図書館 ストックヤード) → (神田さくら館 (幼稚園、小学校、教育研究所、まちかど図書館))

永田小 → 麹町小学校 仮校舎

資源化施設
調査・検討

★5億800万円
神田公園出張所 → H11年5月開設予定



決定地区 (orange hatched)
検討地区 (red hatched)

※各地で説明会が行われていますので、まずは一度参加してみましょう。

拓く会が入って変わったこと 変えられなかったこと

～ 他会派の方々と連携をとり実現したことです。～

公適配を止めた

むだな出費をおさえ住民の生活サポートがより充実しました

- 小川町総合文化施設中止 (建設費約80億)
- 出張所の統合中止
- 中学校統合のあり方再協議
- 20件の施設建設を9件に絞る
- 千桜小の建物を残し、再利用を可能にした
- 永田町小を麹町小新校舎建設中の仮校舎として利用

行政改革

経費節減、情報公開が進み住民の目から見た手順手続が重視されるようになりました

- 返せる借金を早く返し、利息を節減しました(約80億減)
- 初めて財政白書を発行
- 経費節減が進む(旅費、コピー代、食糧費、タクシー券、会議資料の両面コピーなど様々な)
- 海外視察の中止
- 議運など会議の弁当が有償に
- 各種協議会審議会の弁当見直し
- 文化スポーツ振興財団(第4の公社)を止めた
- 懇談会や検討会への住民公募が進む

環境・街づくり

住み続けられる千代田のために景観を守り、省エネ型の街づくりへの第一歩をすることができました

- 景観まちづくり条例の制定
- 神田川・日本橋川への腹岸緑化実施
- 学校へのコンポスト(生ゴミ再生処理機)の導入実現
- 公共施設における雨水、ソーラーの利用が定着した
- CATVの導入
- 住宅へのリフォーム補助制度発足
- 清水谷駐車場計画中止
- 行政中心の地区計画から住民話し合いの地区計画に方向を変えた

住民サービスの向上 福祉

子供、お年よりの生活を守り、住民に優しい行政サービスが行なわれるようになりました

- 神田地区特別養護老人ホームに着手
- 保育料値上げの半年ストップ
- 幼稚園での預かり(延長)保育実施
- 保育園での産休明け保育実施
- 区主催講座などでのいっつき預かり保育制度実施
- 児童館が6時まで開館に
- 社会教育会館有料化の1年間ストップ
- 借上げ住宅賃料値上げの中止
- ホームページによる区、区議会の情報公開

拓く会が入っても変えられなかったこと

- 公共施設の豪華施設化、維持費の増大
- 保育料の値上げ
- 小学校の歴史・伝統の喪失
- 秋葉原約100億円の地下駐車場(約200台)計画
- 半蔵門会館、九段坂の昭和館(平和祈念館)丸ビル跡地計画など皇居周辺の超高層化・大規模開発化
- 福祉作業所の移転改築が遅れた
- ほか

拓く会議員団

ニュース

笹間芳彦
萩原秀夫

APR. 1999

vol.8

荻生 誠
小枝すみ子

拓く会議員団 四年間の成果

公適配を止めて千代田区を財政危機から救いました!!

4年前、行政主導の区政に疑問を感じ住民自治を主張する「明日の千代田を拓く会」を母体として、私たちは議員となり、議会内で「拓く会議員団」を結成しました。1期生議員を主とする「議員団」として、先ず行政・議会を含む区役所の中では、市民社会とあまりにも異質なきたりの多さに驚くと同時に、その中で、私達の主張を貫いて行く方法に苦慮しました。

既成勢力を批判し、何でも反対を主張することは容易なことですが、それでは代表として入った意味はありません。「実」の無いたたかいはしたくありません。数か結果を左右する議会制民主主義の中心である議会という場の中にあっても、数が少なくとも、筋の通った主張なら通ると確信し、会派を超え広く遊説し、いわば対話路線を構築することに徹しました。

その結果、1年目には予算減額の修正案を提出することによって、「公適配」の終結宣言を導きました。私達の公約の第1です。

この公適配終結は、私達議員団が予想していた通り、現在の時点で千代田区の財政危機を救った、決定的な要因になり得たと胸を張って、皆様にご報告致します。

2年目には、千代田区はじまって以来の、野党議長誕生に成功しました。自民11対非自民12の快挙でした。この11対12が議会を大きく変え、住民の意見がストレートに反映する議会に、一歩も二歩も前進したと皆様にご報告出来る喜びは、議員とし

ての諸々の苦勞を忘れさせます。

住民の気持ちからやや離れ議会内の論理を優先し、政治・政党が先行してしまっただ事、区長選の一敗因となった事は事実です。けれども、その区長選を機に、1995年の段階では11対12でぎりぎりのところにあった「特別養護老人ホーム」の計画が前に進み、麹町保育園の日照を奪う高層マンションをストップさせ、底地を買い「お日梯広場」にする、福祉タクシー「ナギぐるま」が実現の運びになる等、区長選の生み出した結果は大きいと私達は判断し、これが民主主義の力であると信じています。

他にも、1年目の11月決算可否同数等、区議会はじまって以来といわれる、数々の場面を演出し、区民の区民による区政に一歩でも近付くため努力して参りました。

これからも議会内において市民社会のルールと市民の目録による「対話」が通用するよう努力を続けることが、住民自治の確立とそれを支える行政の、さしあたっての財政破綻を防止するという、二つの大きな目標達成への基本であると信じております。しかし、すべて住民の皆様が強い応援が生み出したものであり、皆様のご意見は、私達の価値判断の絶対の根拠です。皆様との信頼関係を力に今後ともフル回転して参る所存です。ご意見をお寄せ下さい。